

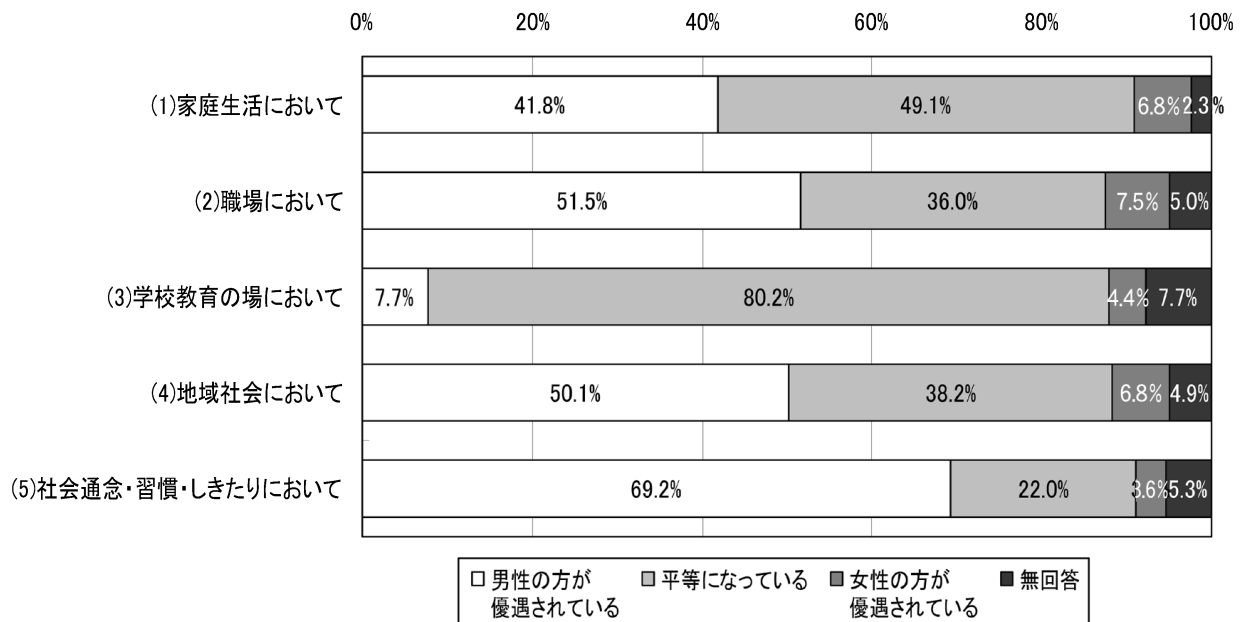
Ⅲ 調査結果

1. 男女平等について

問1 あなたは、次の(1)から(5)までのような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれについて、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。(それぞれ1つに○)

「男性の方が優遇されている」と回答している項目としては、「社会通念・習慣・しきたりにおいて」が69.2%、「職場において」は51.5%の人が回答しています。また、「平等になっている」という回答が多い項目としては、「学校教育の場において」が80.2%、「家庭生活の場において」が49.1%となっています。

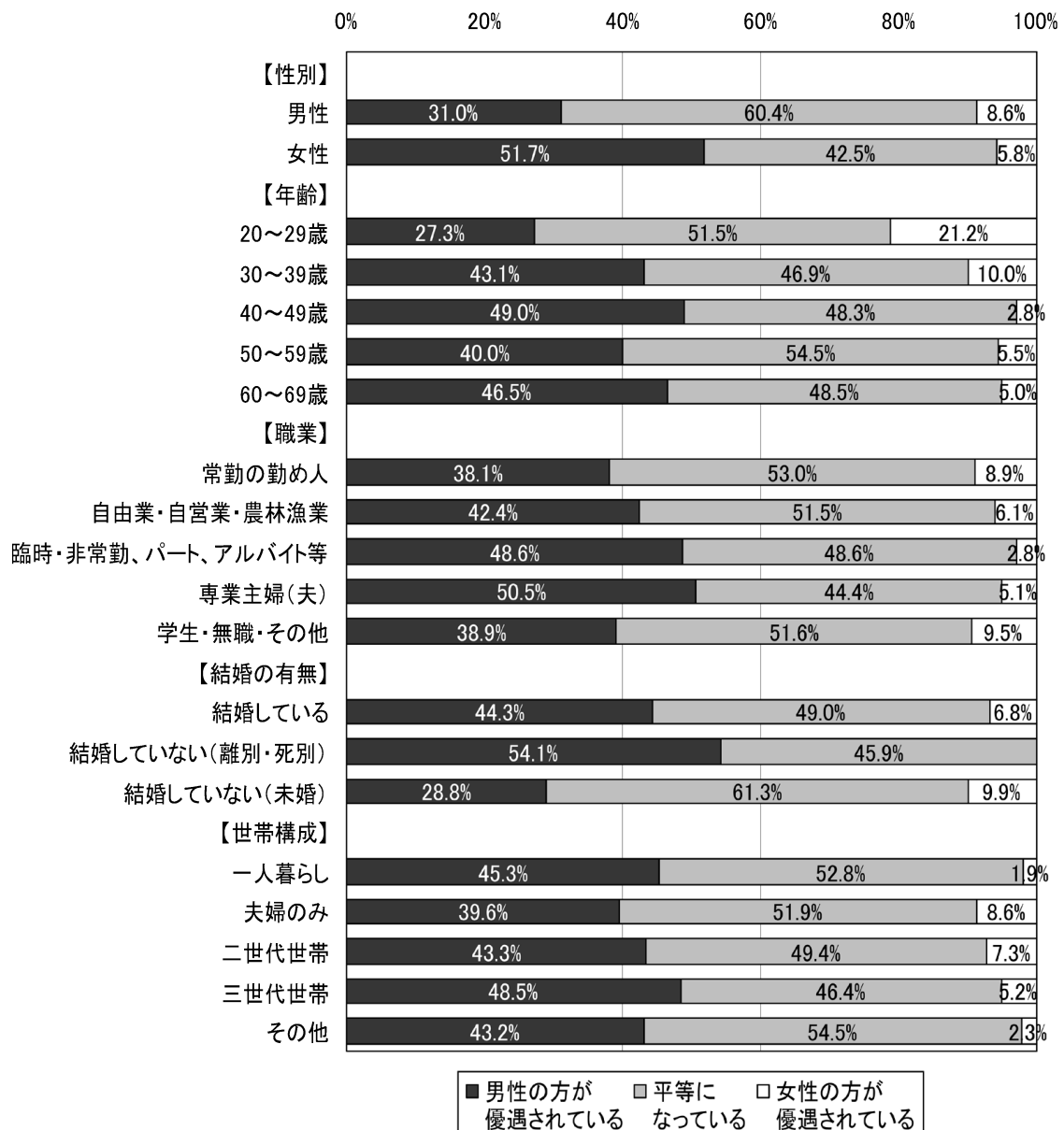
全項目において、「女性の方が優遇されている」という回答は少なくなっています。



問1：男女の地位の平等感 (1)家庭生活において (属性別)

【性別】では、男性は、「平等になっている」という回答が大半を占め、女性は「男性の方が優遇されている」との回答が半数以上となっています。【年齢】では、年齢が上がるにつれ、「男性の方が優遇されている」という回答が増加しています。20歳代では、他の年代に比べ、「女性の方が優遇されている」という回答が多くなっています。【職業】では、パート・アルバイト、専業主婦(夫)において「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合が多くなっています。【結婚の有無】では、離別・死別の人が「男性の方が優遇されている」という回答が半数以上となっており、未婚者は6割以上が「平等である」と回答しています。【世帯構成】では、大きな特徴はありませんが、夫婦のみの世帯において、「女性の方が優遇されている」という回答が他の属性から比べると多くなっています。

家庭生活において

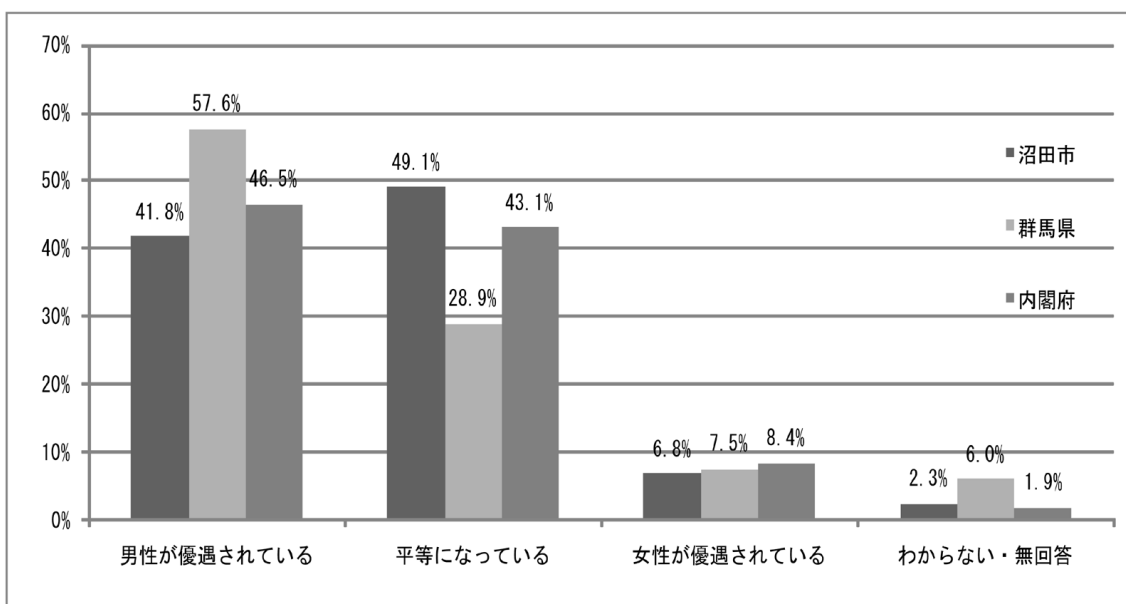


【群馬県及び内閣府調査との比較】

家庭生活においては、群馬県及び内閣府調査と比較すると、「平等になっている」という回答が一番多かったのは沼田市で、「男性が優遇されている」との回答が一番多かったのは群馬県になっています。

(1)家庭生活において (％)

	男性が優遇されている	平等になっている	女性が優遇されている	わからない・無回答
沼田市	41.8	49.1	6.8	2.3
群馬県	57.6	28.9	7.5	6
内閣府	46.5	43.1	8.4	1.9



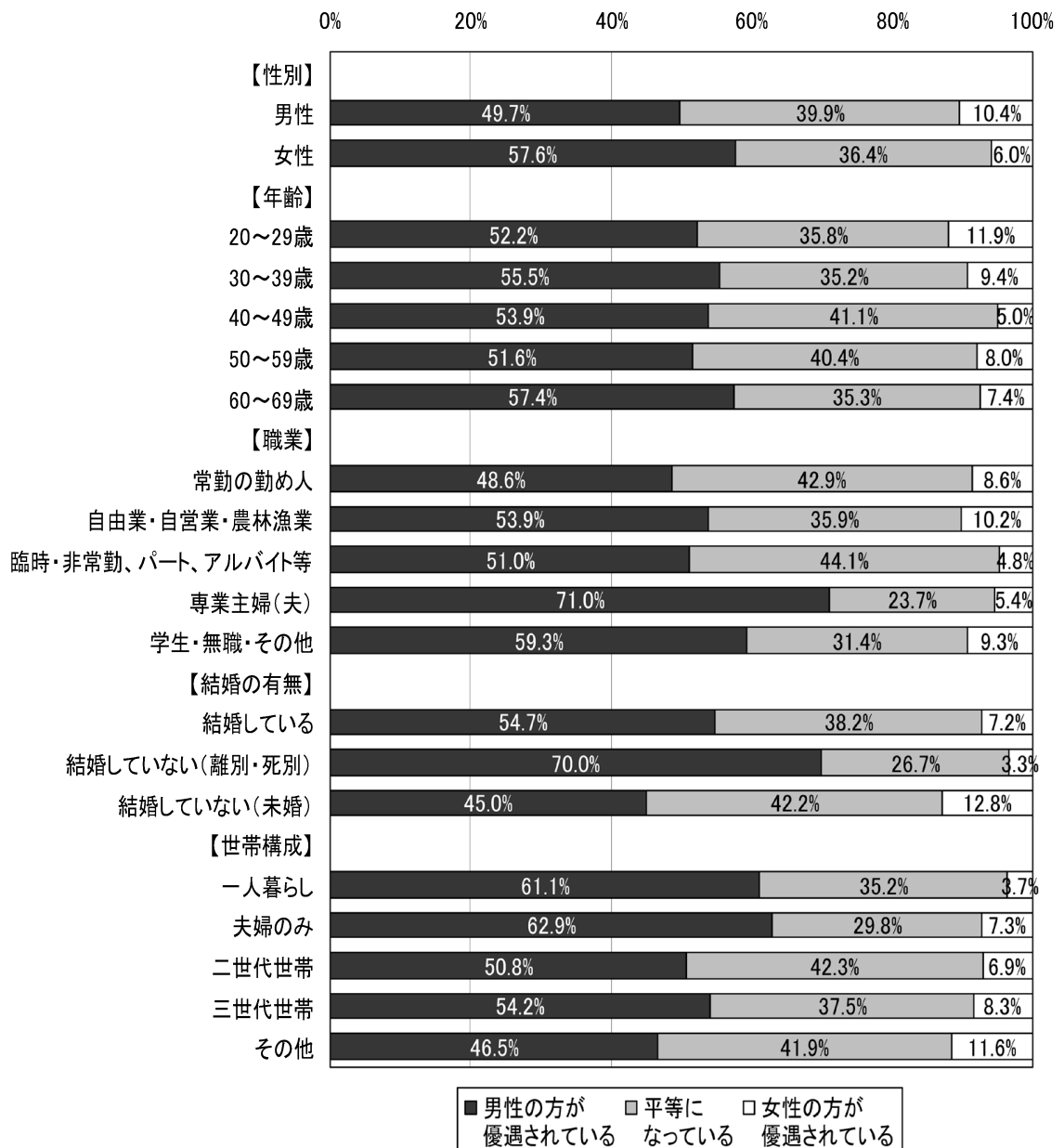
※ 群馬県調査：「男女共同参画社会に関する県民意識調査（平成 22 年 3 月）」

内閣府調査：「男女共同参画社会に関する世論調査（平成 21 年 10 月）」

問1：男女の地位の平等感 (2)職場において (属性別)

【性別】では、男性よりも女性の方が「男性の方が優遇されている」と回答しています。
 【年齢】では、大きな傾向はありませんが、若年世代（20歳～30歳代）において、「女性の方が優遇されている」という回答が多くなっています。
 【職業】もほぼすべて同様の傾向ですが、専業主婦（夫）では「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合が多くなっています。
 【結婚の有無】では、離別・死別の人が「男性の方が優遇されている」との回答が70%となっており、未婚者では「女性の方が優遇されている」と回答した人が他の属性から比べると多くなっています。
 【世帯構成】では、大きな特徴はありませんが、一人暮らし、夫婦のみ世帯において、「男性の方が優遇されている」という回答が多くなっています。

職場において

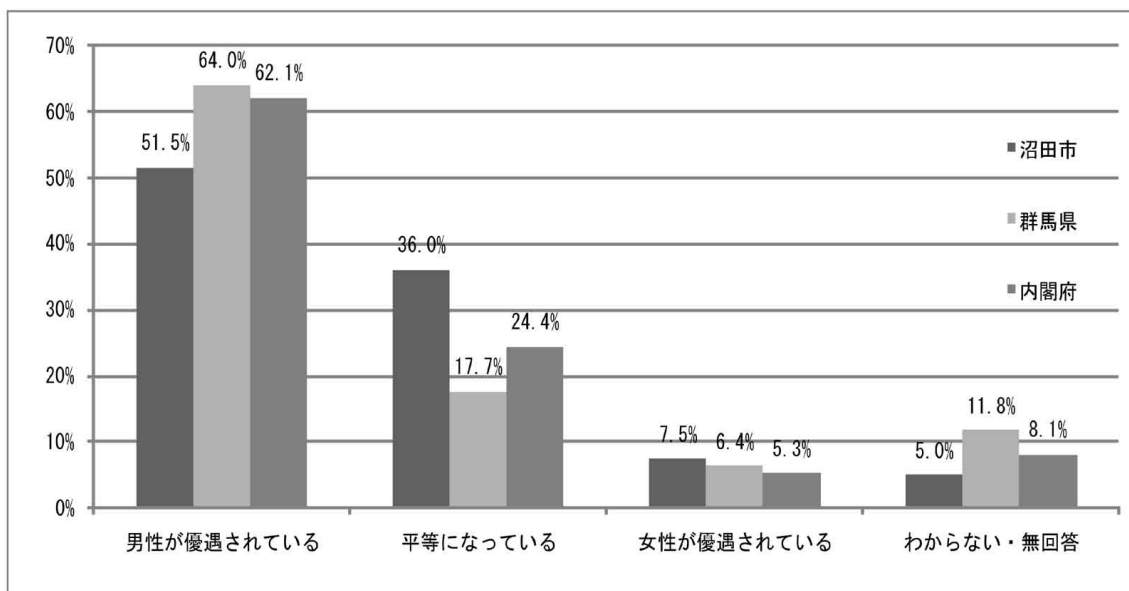


【群馬県及び内閣府調査との比較】

職場においても、群馬県及び内閣府調査と比較すると、「平等になっている」との回答が一番多いのは沼田市で、「男性が優遇されている」との回答が一番多かったのは群馬県になっています。

(2)職場において (％)

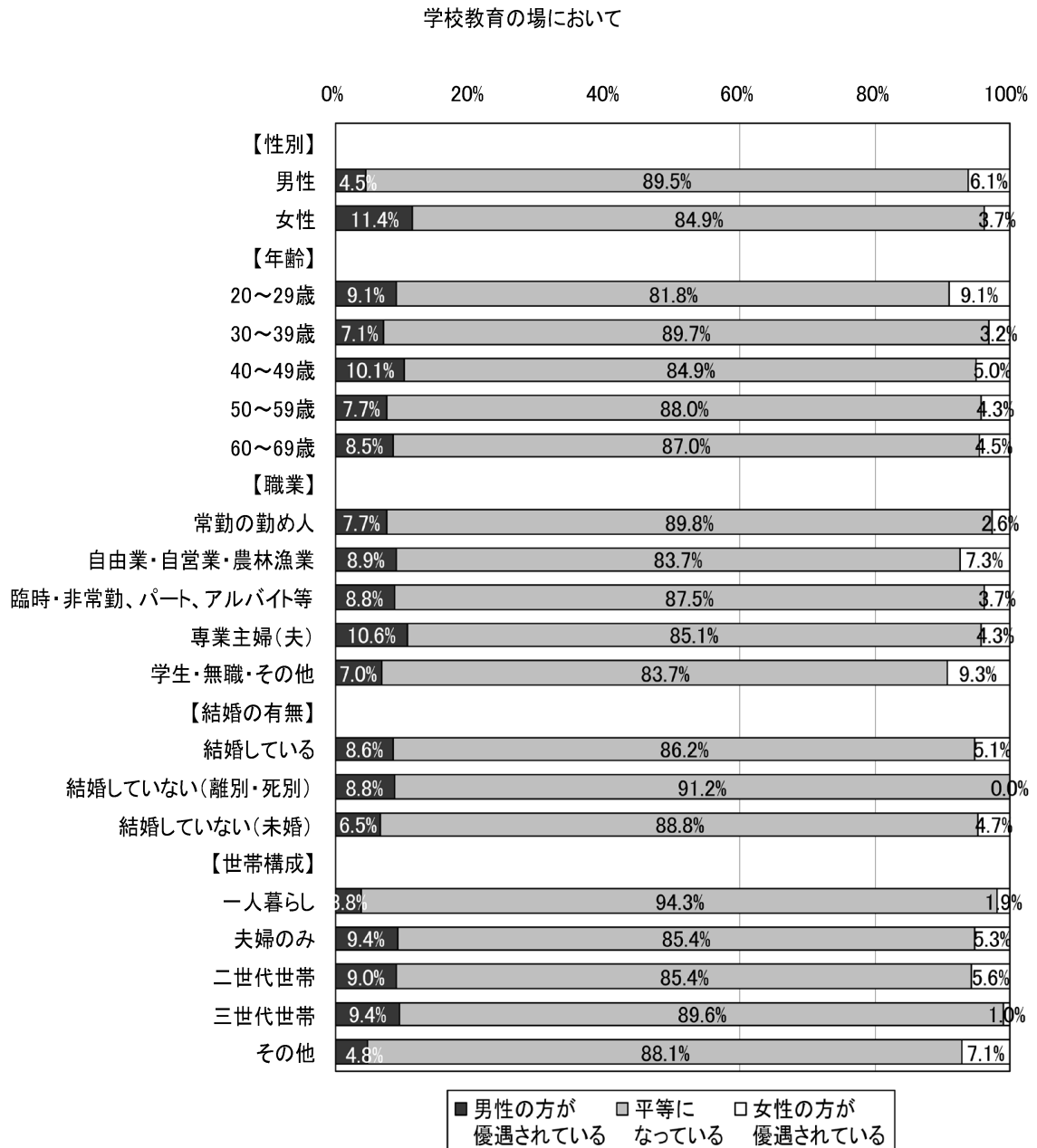
	男性が優遇 されている	平等になって いる	女性が優遇 されている	わからない・ 無回答
沼田市	51.5	36	7.5	5
群馬県	64	17.7	6.4	11.8
内閣府	62.1	24.4	5.3	8.1



※ 群馬県調査：「男女共同参画社会に関する県民意識調査（平成 22 年 3 月）」
内閣府調査：「男女共同参画社会に関する世論調査（平成 21 年 10 月）」

問1：男女の地位の平等感 (3)学校教育の場において (属性別)

ほぼすべての属性において、8割から9割の方が「平等である」と回答していますが、20歳代や学生・無職・その他の職業では、「女性の方が優遇されている」との回答が他の属性に比べやや多くなっています。

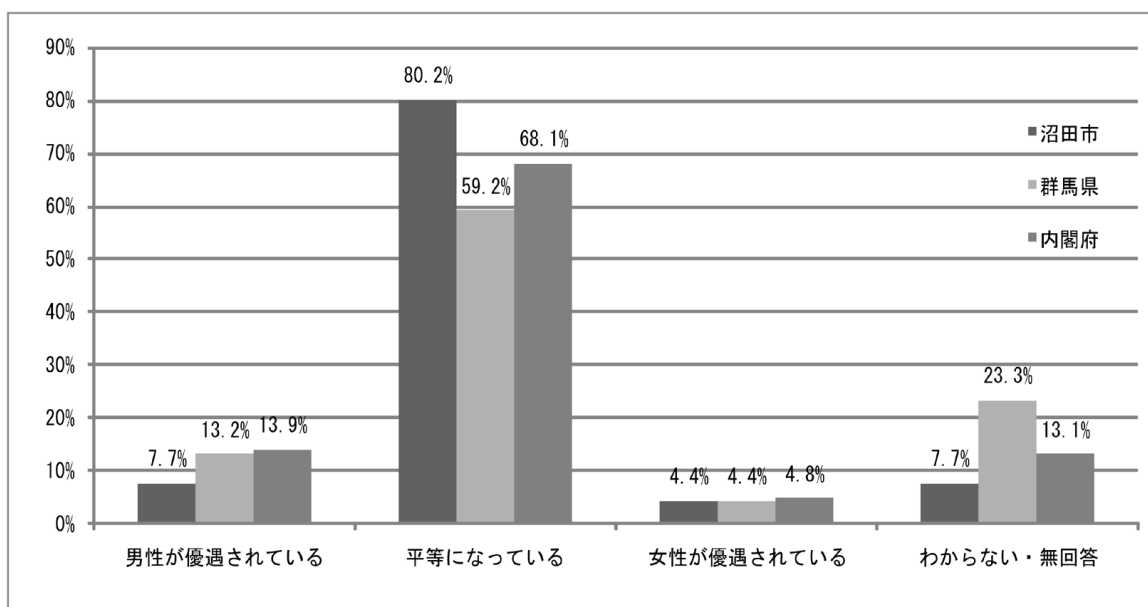


【群馬県及び内閣府調査との比較】

学校教育の場においては、群馬県及び内閣府調査と比較すると、「平等になっている」という回答が一番多いのは沼田市で、「男性が優遇されている」との回答が一番多かったのは内閣府になっています。

(3) 学校教育の場において (％)

	男性が優遇 されている	平等になっ ている	女性が優遇 されている	わからない・ 無回答
沼田市	7.7	80.2	4.4	7.7
群馬県	13.2	59.2	4.4	23.3
内閣府	13.9	68.1	4.8	13.1



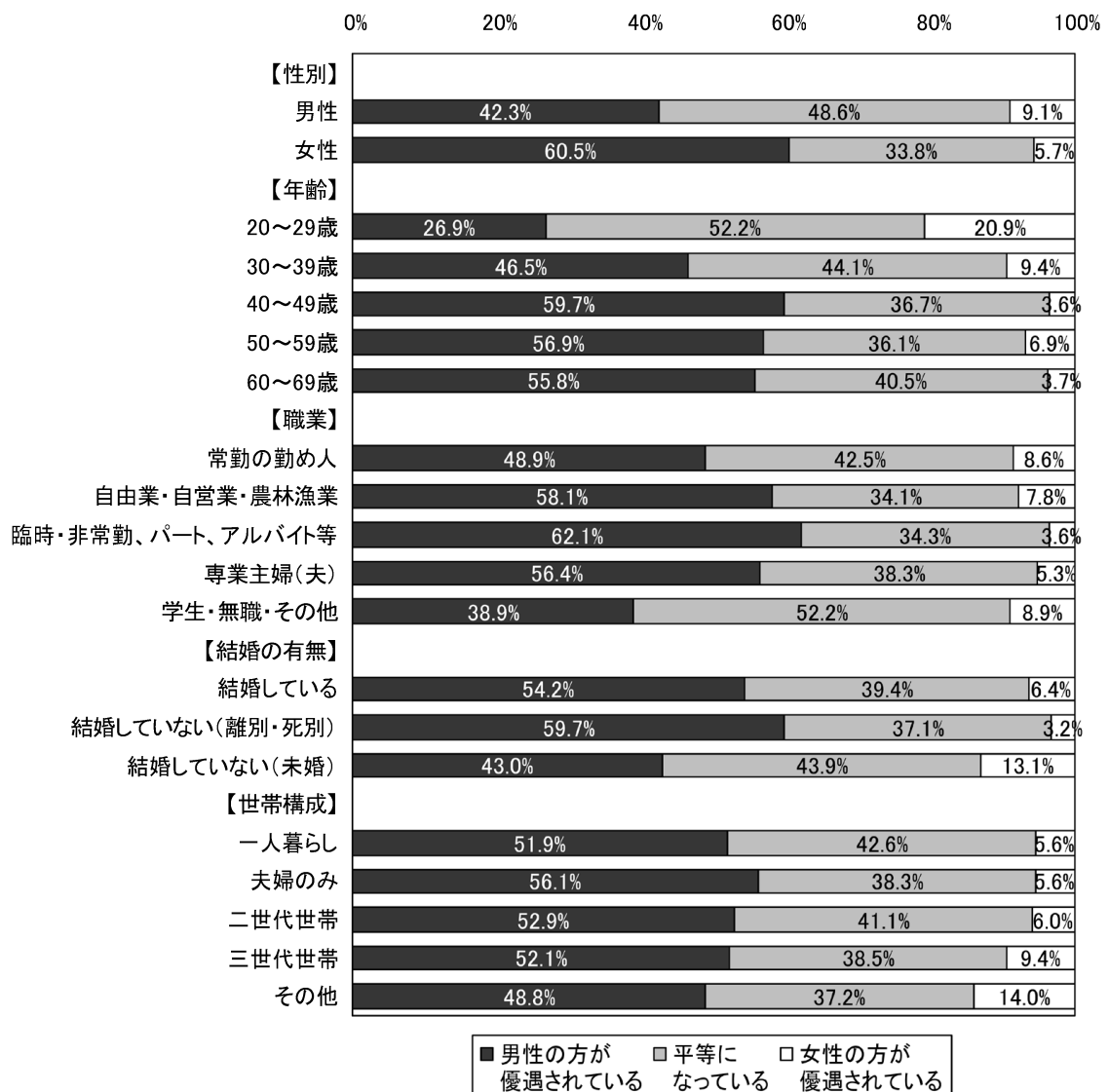
※ 群馬県調査：「男女共同参画社会に関する県民意識調査（平成 22 年 3 月）」

内閣府調査：「男女共同参画社会に関する世論調査（平成 21 年 10 月）」

問1：男女の地位の平等感 (4)地域社会において (属性別)

地域社会においては、家庭生活とほぼ同様の傾向となっています。【性別】では、男性は、「平等になっている」という回答が半数を占め、女性は「男性の方が優遇されている」との回答が6割以上となっています。【年齢】では、年齢が上がるにつれ、「男性の方が優遇されている」という回答が増加しています。20歳代では、他の年代に比べ、「女性の方が優遇されている」という回答が多くなっています。【職業】では、自由業・自営業・農林業、パート・アルバイト、専業主婦(夫)において「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合が多くなっています。【結婚の有無】では、結婚している、離別・死別の人が「男性の方が優遇されている」との回答が半数以上となっており、未婚者では「女性の方が優遇されている」と回答した人が他の属性から比べると多くなっています。【世帯構成】では、大きな特徴はありませんが、約半数の人が、「男性の方が優遇されている」と回答しています。

地域社会において



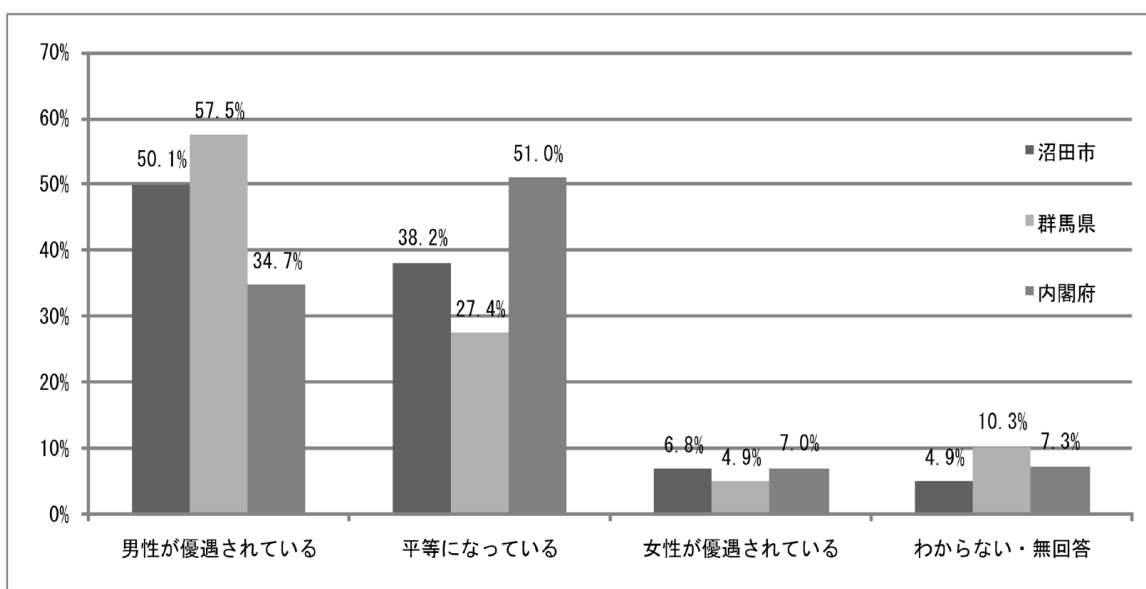
【群馬県及び内閣府調査との比較】

地域社会においても、群馬県及び内閣府調査と比較すると、「平等になっている」という回答が一番多いのは内閣府で、「男性が優遇されている」との回答が一番多かったのは群馬県になっています。

(4) 地域社会において (％)

	男性が優遇 されている	平等になっ ている	女性が優遇 されている	わからない・ 無回答
沼田市	50.1	38.2	6.8	4.9
群馬県	57.5	27.4	4.9	10.3
内閣府	34.7	51	7	7.3

(内閣府調査では自治会や NPO などの地域活動の場)



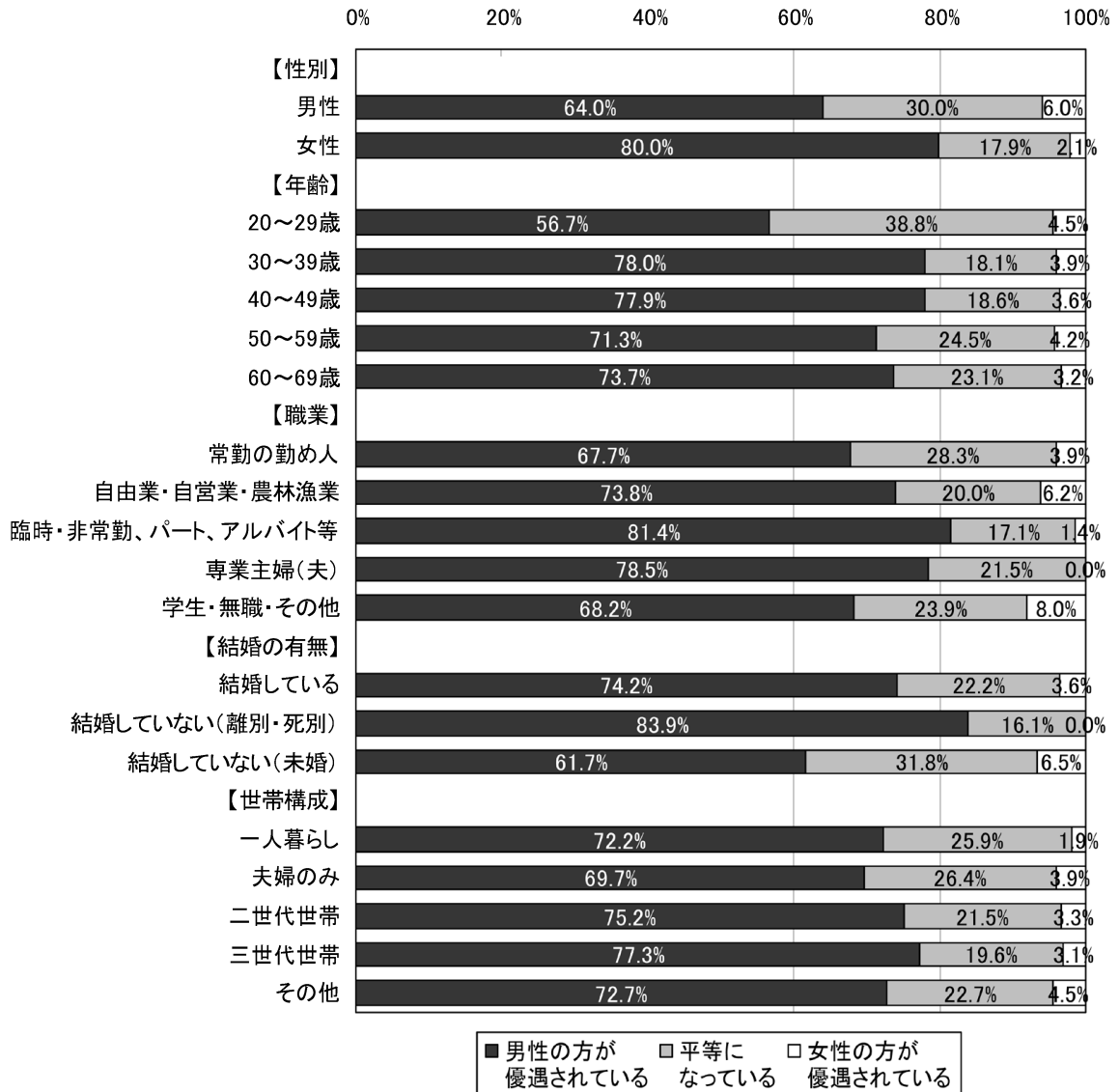
※ 群馬県調査：「男女共同参画社会に関する県民意識調査（平成 22 年 3 月）」

内閣府調査：「男女共同参画社会に関する世論調査（平成 21 年 10 月）」

問1：男女の地位の平等感 (5)社会通念・習慣・しきたりにおいて (属性別)

すべての属性において半数以上の方が「男性の方が優遇されている」と回答しています。特に、女性、パート・アルバイト、離別・死別の人は8割以上が回答しています。しかし、若年(20歳代)、未婚者ではその割合が少なくなっています。

社会通念・習慣・しきたりにおいて

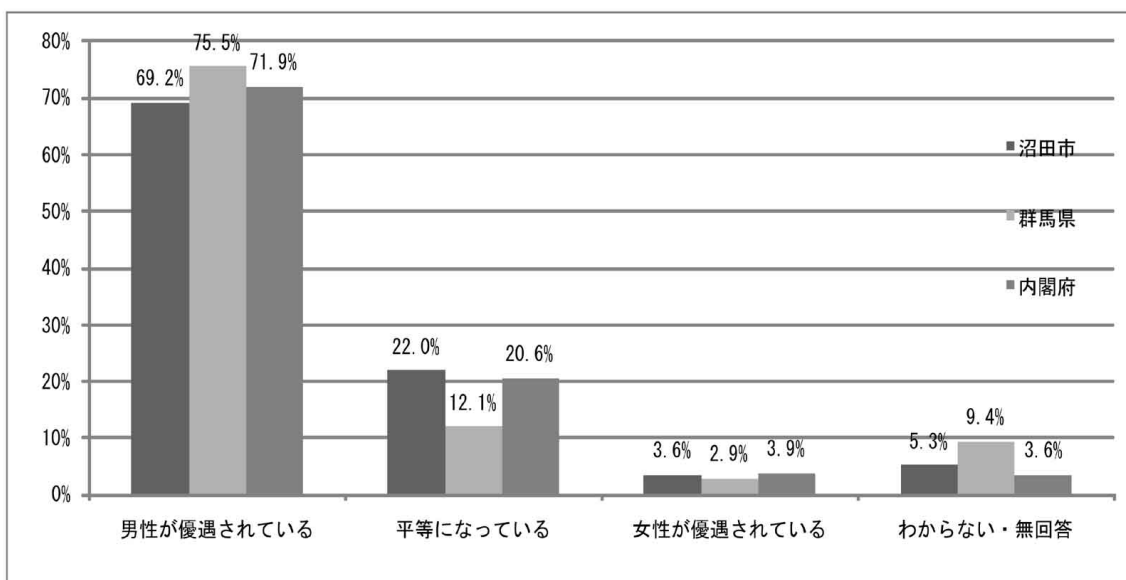


【群馬県及び内閣府調査との比較】

社会通念・習慣・しきたりにおいても、群馬県及び内閣府調査と比較すると、「平等になっている」という回答が一番多かったのは沼田市で、「男性が優遇されている」という回答が一番多かったのは群馬県になっています。

(5) 社会通念・習慣・しきたりにおいて (%)

	男性が優遇 されている	平等になっ ている	女性が優遇 されている	わからない・ 無回答
沼田市	69.2	22	3.6	5.3
群馬県	75.5	12.1	2.9	9.4
内閣府	71.9	20.6	3.9	3.6



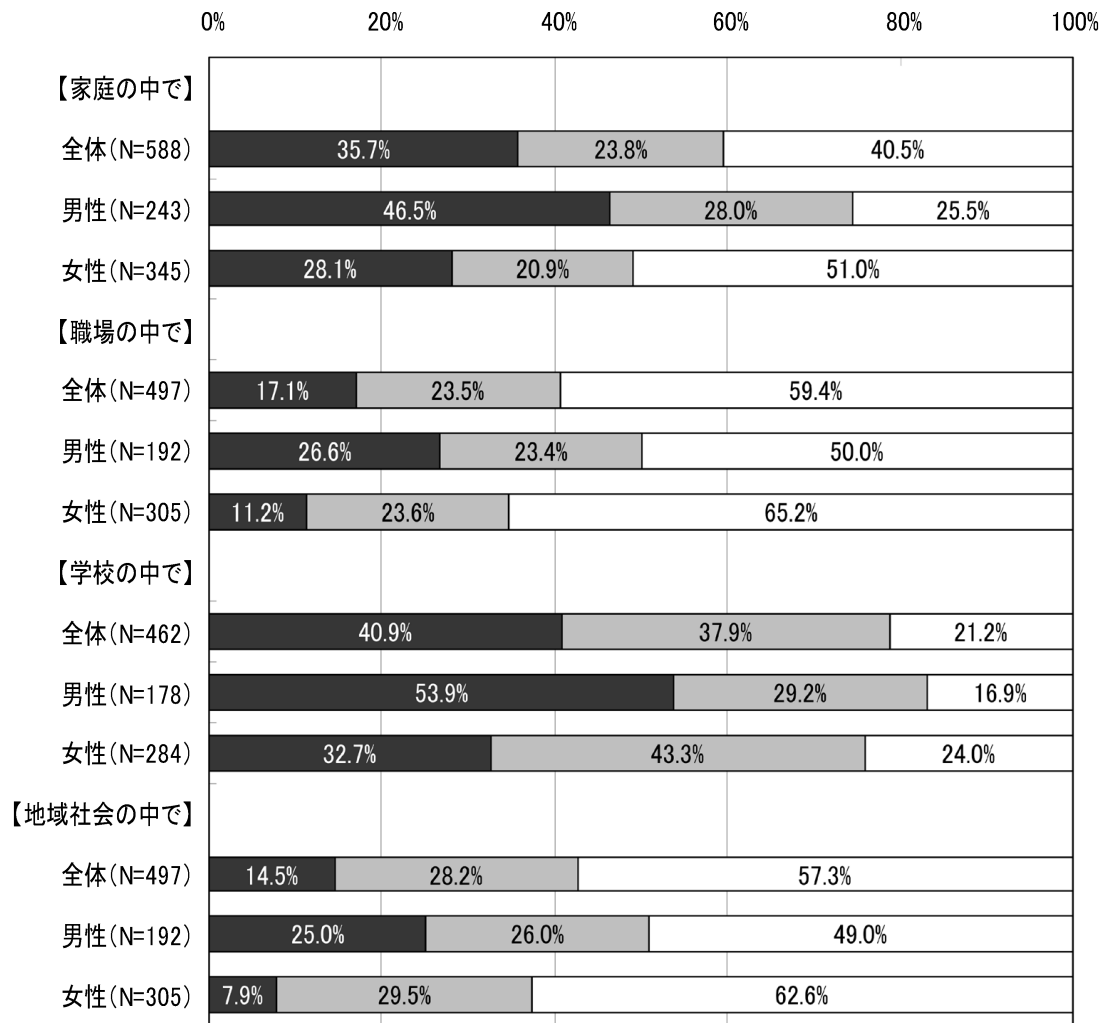
※ 群馬県調査：「男女共同参画社会に関する県民意識調査（平成 22 年 3 月）」

内閣府調査：「男女共同参画社会に関する世論調査（平成 21 年 10 月）」

【参考：平成10年調査】

問 あなたは、次のような場面で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

1つだけ選んでください。

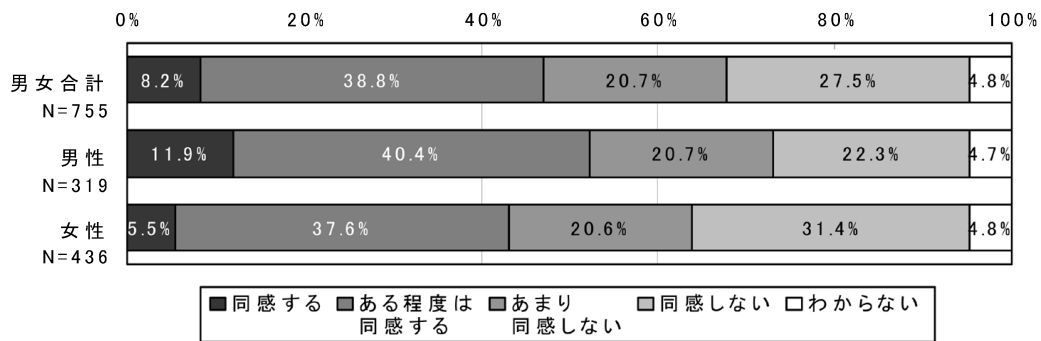


■ 平等になっている □ どちらともいえない □ 平等になっていない

**問2 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。
(1つだけに○)**

「同感する」、「ある程度同感する」と回答した人は合計で47.0%となっており、「あまり同感しない」、「同感しない」と回答した人は合計で48.2%とほぼ同数となっています。

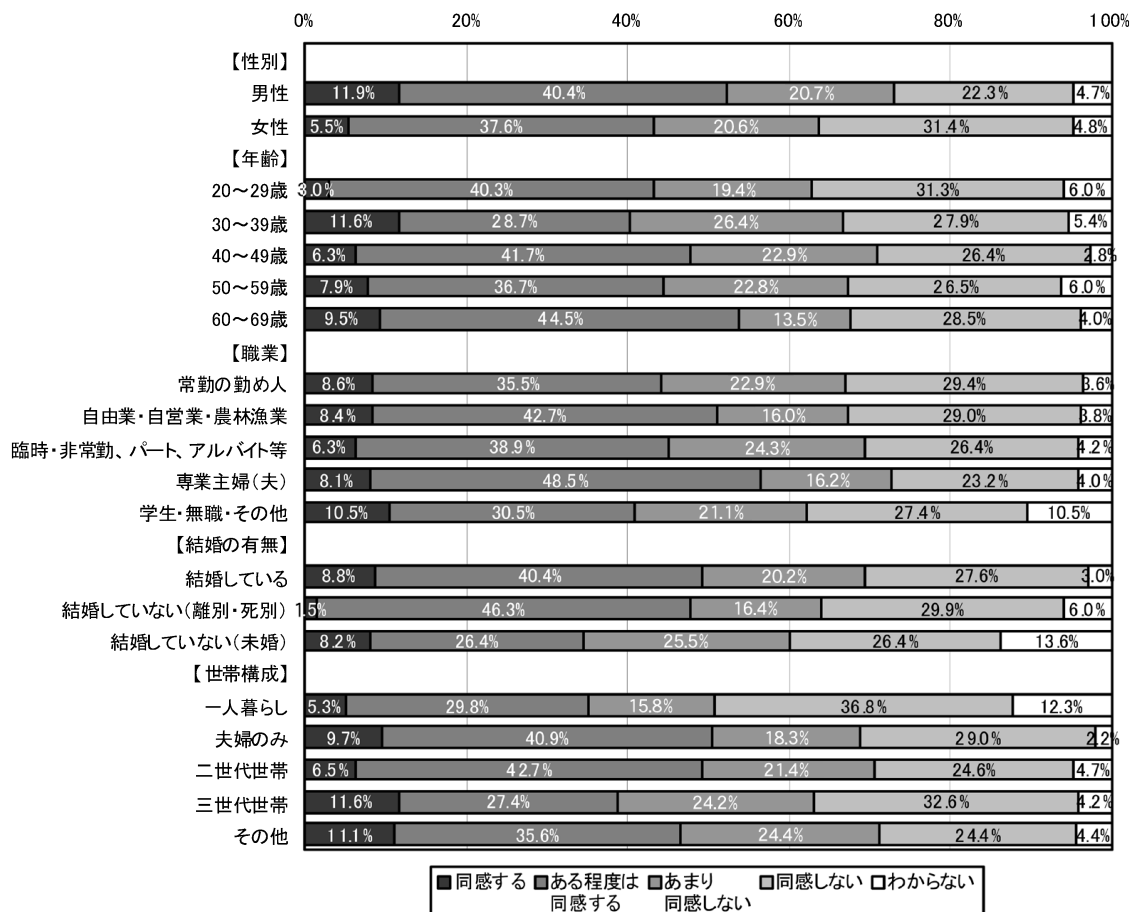
「男は仕事、女は家庭」という考え方について



問2：「男は仕事、女は家庭」という考え方について（属性別）

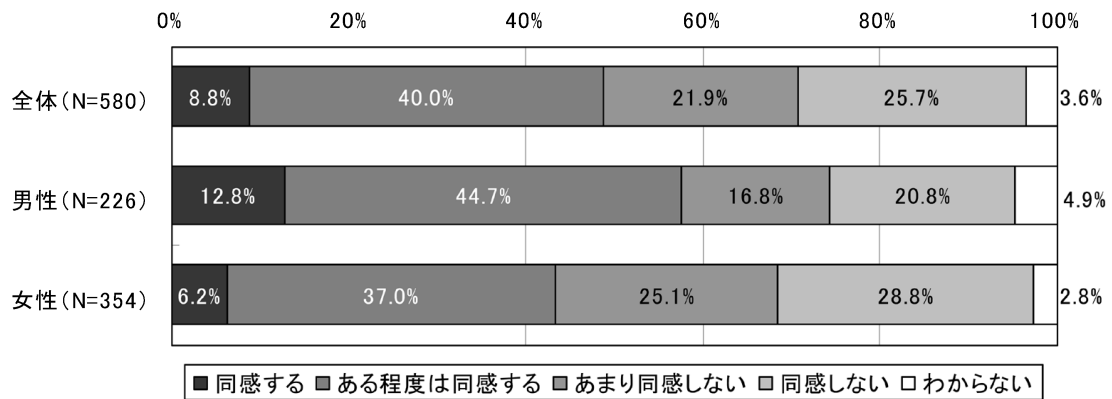
全項目とも同様の傾向ですが、男性、60歳代、専業主婦（夫）、夫婦のみ世帯、二世帯世帯において「同感する」、「ある程度同感する」という回答がやや多くなっており、30歳代、未婚者では「同感しない」、「あまり同感しない」という回答が多くなっています。

「男は仕事、女は家庭」という考え方について



【参考：平成10年調査】

問 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。
1つだけ選んでください。



【前回調査との比較】

前回調査（平成10年）と比較すると、今回の調査の方が若干ですが「同感する」という人が減り、「同感しない」という人が増えています。

(%)

	同感する	ある程度同感する	あまり同感しない	同感しない	わからない
22年調査	8.2	38.8	20.7	27.5	4.8
10年調査	8.8	40	21.9	25.7	3.6

